

## ART OF IBARAKI

Ibaraki Ceramic Art Museum



花瓶の表面には、何匹ものネズミがいて、綱のようなものを引っばっています。花瓶を一周して見ると、ネズミたちが左の花瓶ではタコを、右の花瓶では先が二つにわれた大根を引っ張っていることがわかります。見る者は「真下からはネコが狙っているのに気づいていないのでは」と心配になりますが、そこは江戸時代の人の遊び心、花瓶の表面に描かれた、平面の世界の住人であるこのネコは、絵の中からは出られないのでネズミを捕まえられない、というオチがあります。先が2つに割れた大根や、8本脚のタコ、そして子だくさんのネズミは、数が多いことに因み、幸せが増えるという意味をもっていました。宮川香山は、明治初期に横浜に築窯し、動物や植物を表現したパーツを貼り付け、その上から細かい上絵をほどこした作風により海外で人気を博しました。しかけ満載で見ると見る者を楽しませる本作品でも、タコの吸盤や、ネズミの尻尾などにみられる細部のリアルな表現や、違和感なく擬人化されているネズミの姿などから、香山の技術力の確かさが伝わってきます。

### 近現代日本陶芸の巨匠たち 茨城県陶芸美術館

表紙では、茨城県陶芸美術館所蔵作品の中から、文化勲章受章者及び重要無形文化財保持者(人間国宝)の作品を中心に、日本の近現代陶芸を語る上で欠かせない作家たちの作品を紹介します。

### 初代 宮川 香山

しよだい みやがわ こうざん

天保13年(1842)―大正5年(1916)

### 「色絵金彩猫図鼠高浮彫花瓶」

いろえきんさいねこねずみたかうきぼりかびん

明治前期

茨城県陶芸美術館蔵

(左)34.5×17.4(右)34.5×18.2cm

### 主な内容

- ▼ 理事会で上半期報告
- ▼ 各種研修会を開催
- ▼ 県が補正予算案公表

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

### 本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

# 理事会で上半期事業や決算を報告

## 県内初の建設業合同企業説明会開催等

本会は11月13日、水戸市の県建設技術研修センターで理事会を開催し、上半期事業や決算を報告しました。上半期には新たな事業として、登録解体工事講習会や高校生を対象とした2級土木施工管理技術検定試験講習などを実施したほか、県内初となる建設業合同企業説明会を開催しました。地域貢献活動としては、会員企業の皆様にご協力いただき、道の日にちなんだ県下一斉道路美化活動を行いました。

理事会で岡部会長は、本年度の上半期について、総会で決定された事業計画に基づき、各種事業に取り組んできたと説明。



岡部会長

主な取り組みのうち、会員企業の経営改善、技術力向上に関する啓発指導事業では、監理技術者講習会や建設業経営者研修会の開催について報告。また、新たに建設業法改正等に対応が必要となる登録解体工事講習会、BCP（事業継続計画）策定に係る説明会などを開催したことも報告しました。

さらに、雇用改善および人材確保・育成に関する事業では、新たな取り組みとして、水戸工業高校の生徒を対象に2級土木施工管理技術検定試験講習を実施。

7月には、県内初の建設業合同企業説明会を水戸京成ホテルで開催し、ブースを出展した会員企業36社が、来年3月卒業予定の大学生や専門学



新規事業などについて報告しました

校の生徒など102人の参加者に、会社概要や業務内容などを説明したと報告しました。

会員の福利厚生事業については、会員相互の親睦を図るため、第3回支部対抗チャリティゴルフ大会を開催し、集まったチャリティ金を日本赤十字社茨城県支部に寄贈しました。

このほか、関東地方整備局や茨城県と実施した意見交換会についても報告。意見交換会では、補正予算の編成や地元業者の受注機会の確保、i-Constructionの取り組み、働き方改革（週休2日制の定着）などについて議論しました。

# 魅力ある産業へ努力 優良企業や標語を表彰

平成29年度「建設雇用改善推進集会」



尾曾副会長



大谷茨城労働局  
職業安定部長



岩上県商工労働  
観光部次長

本会は11月14日、平成29年度の建設雇用改善推進集会を水戸市の県建設技術研修センターで開催し、会員企業など約200人が参加しました。雇用改善に功績のあった企業や優秀標語入選者などをたたえたほか、特別講演を行い、雇用改善へ一層尽力することを誓い合いました。

冒頭、尾曾正人副会長は「建設業界は従業員の高齢化、若手入職者の減少が進んでおり、将来的な担い手となる人材の確保、育成が喫緊の課題となっている。本会は、昨年設置した人材開発委員会を中心に、労働環境改善や建設業界のイメージアップを図る事業を推進し、若者が将来を託せる魅力ある産業となるよう努力していく」とあいさつ。

来賓祝辞では、厚生労働省茨城労働局の大谷真司職業安定部長が「建設業では若年技能労働者の不足が予想されることから、魅力ある職場づくりを推進し、次世代を担う技能労働者を確保することが必要。そのために28年度から5カ年計画の第9次建設雇用改善計画を策定し、建設労働者



確保助成金など、さまざまな取り組みを進めている」などと話しました。

県商工労働観光部の岩上康雄次長は「県は本年度から、鉄筋や型枠などの新人技能者を育成するための訓練プログラムの開発を進めている」とした上で、「これらの施策以外にも労働環境の改善に取り組んでいくことが必要」とし、ワークライフバランスの重要性などを説明しました。

続いて、建設雇用改善優良事業所、雇用改善に関する標語入選者、建設業退職金共済制度普及協力者の各表彰を行い、受賞者をたたえました。本年度の最優秀標語には、石塚産業(株)の齊藤加奈子さんの作品「取り入れよう新しい技術 育てよう若い芽 未来を創る建設業」が選ばれました。おめでとうございます。

特別講演では、政治アナリストの伊藤惇夫氏が「安倍政権の課題と日本政治のゆくえ」と題して講演しました。



伊藤氏が講演

## 受賞者 (敬称略、順不同)

【県知事表彰】(建設雇用改善優良事業)  
(株)高野工務店(常陸大宮支部)

【県建設業協会会長表彰】(雇用改善に関する標語入選者)  
◆最優秀賞=齊藤加奈子(石塚産業(株))

◆優秀賞=高橋栄(株)瀧工務店、福地康裕(鈴縫工業(株))

◆佳作=鈴木正義(株)鈴木良工務店、  
小盛亨(株)新みらい、  
吉岡昭彦(水戸土建工業(株))、  
会田康之(石塚産業(株))、  
大滝佳史(小若建設(株))、  
軍司智美(株)関根工務店、  
塚本喜勝(谷原建設(株))、  
伊藤重次郎(成島建設(株))

【勤労者退職金共済機構理事長表彰】

(建設業退職金共済制度普及協力者表彰)

海老根建設(株)(大子支部)、(株)伊東建設(鉾田支部)

## 保証事業充実へ意見交換

茨城協議会が定例会

東日本建設業保証(株)茨城支店の保証事業を推進するために設置されている保証事業茨城協議会（会長＝岡部英男本会会長）の平成29年度定例会が11月15日、水戸市の水戸プラザホテルで開催されました。本年度上半期の保証実績からみた県内公共工事動向や前払金制度状況について報告したほか、保証事業の充実を期して、県内建設業の課題などについて意見交換しました。

協議会では、東日本建設業保証の福田敏弘取締役総務部長が上半期の全社業務概況を報告。前払金保証業務の状況として「28年度に前倒し執行があったことから、本年度9月末では若干マイナスとなっている」と説明しました。

茨城支店の氏家博志支店長は、県内上半期の前払金保証取扱高について「全体で件数が10%、請負金額が21.3%、保証金額が24.3%の減少。保証金額ベースの発注者別取扱高では、国と独立行政法人等、県が40%を超えて著しく減少した。



国は昨年度に築堤工事や圏央道、港湾など大型工事が多数あった影響。県は昨年度に前倒し発注があった反動減が大きい」と解説。

前払金制度については「工事は取手市が限度額を設定している以外は、一律4割、限度額なしとなっている。業務委託では未導入の市町村があるので、今後の課題と考えている」と述べました。

中間前払金制度は、21年度時点での導入は水戸市のみでしたが、その後、本会各支部の働き掛けなどにより、本年4月1日現在で44市町村全てが導入しています。

## 柴勝副会長が旭日双光章を受章

平成29年秋の叙勲で、本会の柴勝副会長が建設業振興功勞として旭日双光章を受章されました。誠におめでとうございます。ますますのご活躍をご祈念いたします。



柴副会長は、昭和18年1月27日生まれ。昭和41年に日本大学農学部農業土木学科を卒業後、父が経営する(株)柴建設に入社。様々な工事で現場経験を重ね、昭和55年に代表取締役社長、平成25年に代表取締役会長に就任。

本会では、平成7年に理事に就任し、平成8年

から下館支部副支部長、平成16年から常任理事と下館支部長を歴任。現在は副会長兼筑西支部長を務めています。

これまでの功績から、平成20年には国土交通大臣表彰（国土建設事業功勞者）、平成23年には黄綬褒章の榮譽に浴しています。

### 柴氏の話

「今回の受章は、私個人のものではなく、地域の建設業者の代表としていただくものであり、ひとえに関係者の皆様のおかげと考えております。今後も、社会資本整備の担い手として、微力ながら地域の発展に尽力してまいります」

## 企業人の基本姿勢学ぶ

### フォローアップ研修開催



講師の花輪氏

本会は12月1日、新規入職者などを対象としたフォローアップ研修を水戸市青柳町の県建設技術研修センターで開催しました。会員各社の若手社員など70人以上が参加し、コミュニケーション力に磨きかけたほか、仕事に取り組む姿勢などを再確認しました。

この研修は、会員事業所の若年入職者を対象に、企業人としての基本姿勢の再確認や職場への定着促進を図るために一昨年度から実施しており、今回で3回目となりました。

講師は、全国建設産業教育訓練協会の富士教育訓練センター講師の花輪孝樹氏が担当。

花輪氏は「3年間頑張れば、その後の方向性が

見えてくる。秋は新人の評価が定まる時。気を抜くことなく、自分づくりに励んでいただきたい」とした上で「これからの技術者は、腕とともにくちばしも磨かなければ」と述べ、建設マンの行動学などについて説明しました。

参加者たちは、コミュニケーション力や安全力、スピーチ力などを磨くとともに、仕事に取り組む新たな決意を固めました。



## 信頼されるリーダーとして

### 実践的訓練でスキルアップ



本会などで構成する茨城県建設産業担い手確保・育成ネットワーク協議会は11月22日、建設業中堅社員リーダースキルアップ研修を水戸市の県建設技術研修センターで行いました。

会員企業などから今後の企業発展において

キーパーソンとなる中堅社員100人以上が参加。全国建設産業教育訓練協会富士教育訓練センターの花輪孝樹氏を講師に招き、組織における自身の役割や信頼されるリーダーとして求められる条件などを学び、実践的な訓練を通してスキルアップを図りました。

この協議会は、本会のほか、県建設産業団体連合会、茨城労働局、県検査指導課、県労働政策課、県職業能力開発課、県職業能力開発協会、県型枠事業協同組合、県鉄筋業協同組合で構成。国・県・関係団体などと連携し、建設業における担い手確保・育成の中長期的な計画を策定し、若年者の入職促進や育成の取り組みを推進することを目的に、昨年度に発足しました。

## CCI茨城 谷和原中で木造倉庫引渡式



本会などで構成する「茨城県魅力ある建設事業推進連絡会議（CCI茨城）」が、つくばみらい市立谷和原中学校の生徒と共に建設を進めていた木造倉庫が完成しました。11月22日には引渡式が行われ、建設作業を体験した2年生114人と関係者で完成を喜びました。倉庫の愛称は生徒たち皆で考えた「やわろぐハウス」に決まりました。

この取り組みは、中学生に建設業への親近感を

深めてもらい、将来の職業の選択肢の一つになるように木造倉庫の建設を体験してもらうものです。

生徒代表の後藤珠羽（しゅう）さんは「分かりやすく教えていただいたおかげで楽しく活動できました。みんなで名前を考えたこの『やわろぐハウス』を、これから大切に使っていきます」とお礼の言葉を述べました。

## 土砂災害想定し迅速対応

### 総合防災訓練に参加

11月11日に稲敷市の江戸崎総合運動公園をメイン会場とした「2017年度総合防災訓練」が開催され、本会から竜ヶ崎支部が参加しました。約120機関の約2000人（地域住民約600人を含む）が参加し、防災意識の高揚を図りました。



災害対応への意識を高めました

防災訓練は、災害時における防災活動の円滑化と相互協力体制を強化するため、茨城県と県内自治体の共催で毎年行われています。

連日の大雨によって稲敷市が避難勧告を発令した後、午前9時30分に県南部を震源とするマグニチュード7.3の地震が起こり、市では震度6強を観測。各所で土砂災害などが発生した想定で訓練を開始。情報収集・伝達、住民避難、避難所開設・運営・支援、救援・救護、道路啓開、人命救助等、ライフライン復旧などの訓練が展開されました。

竜ヶ崎支部は、土砂災害現場に急行し、陸上自衛隊施設学校と連携しながら、連絡道路の障害となっている土砂を速やかに除去しました。

# 公共事業費55億円 道路整備推進へ

茨城県12月補正予算案

茨城県の平成29年度12月補正予算案が明らかになりました。一般会計のみの計上で、公共事業費54億9000万円を追加しました。

主なものでは、国補公共事業で大洗友部線などの地方道路整備事業に38億3400万円、主要地方道日立笠間線の郡戸橋（常陸太田）や一般県道土浦坂東線の美妻橋（常総）など7橋の補修に5億6600万円、西谷田川などの河川・総合流域防災事業に4億1600万円を盛り込んでいます。

県単公共事業では、（仮称）上曾トンネルおよび（仮称）真弓トンネルの環境調査などに6億円、冠水対策や河川の堤防修繕などに4億2700万円を配分しています。

12月補正予算案 公共事業費 内訳表  
（一般会計）

（単位：百万円、%）

区分	当初	12月補正
国補	土木	78,982
	農地	11,113
	農林	2,940
	企画	21
	計	93,022
県単	土木	19,004
	農地	858
	農林	774
	計	20,596
小計	113,618	5,490

主な事業計画箇所

【土木部】▼道路改良=32億6800万円（大洗友部線ほか）▼橋梁補修=5億6600万円（日立笠間線郡戸橋ほか）▼河川・総合流域防災事業=4億1600万円（西谷田川ほか）▼県単道路改良=7億6000万円（石岡筑西線ほか）

大子支部  
活動報告

## 利用者のため ごみ拾い実施



大子支部（大藤博文支部長）は10月26日、紅葉シーズンを前に、県大子工務所などと道路の清掃活動を行いました。

出発式で原部修一所長は「地域の方の安心・安全の確保はもとより、数多く訪れる観光客の方々に気持ちよくお帰りいただくため、ご協力をよろしくお願いいたします」と期待。

参加者は3班に分かれ、国道118号池田地内および国道461号大子地内で清掃活動を実施。約40kgのごみを拾い集め、大子支部が回収し、環境センターにて処分しました。

境支部  
活動報告

## 約60人が清掃し 道路をきれいに

境支部（新井孝支部長）は10月31日、道路美化活動を行いました。約60人が参加し、境町の国道354号周辺でごみ拾いに尽力しました。その後、県境工事事務所と入札方法などについての意見交換会を実施しました。

当日は、午前10時ごろに圏央道境古河ICに集合。新井孝支部長と瀬川潔県境工事事務所長の激励後、2班に分かれ、国道354号沿いや境町立長田小学校の周辺などでごみを回収しました。

意見交換会では、舗装工事におけるAランク対象の入札方法などについて議論しました。



常総支部  
活動報告

## 地域美化活動で 通学路に花壇

常総支部（中川原勇支部長）は12月1日、下妻市立豊加美小学校の通学路に指定されている国道294号「とよかみ歩道橋」を中心に、花壇整備を実施しました。今回は、ハボタンやノースポールといった冬の花への植え替えを行いました。

建設未来協議会の申田一仁県西地区幹事は「子どもたちや近隣の人からも評判が良く、地元の建設業者として地域に貢献できるよう、これからも続けていきたい。こうした活動が建設業の魅力発信やイメージアップにつながれば」と笑顔を見せてくれました。



## 会員の動向

〈代表者変更〉

- ▽ 水戸支部  
 (株)共同建設 小口 久子 → 小口 秀久
- ▽ 竜ヶ崎支部  
 クボタ建設工業(株) 久保田興一 → 久保田初江

## 新春賀詞交歓会のご案内

日時 平成30年1月12日(金) 午前11時開会  
場所 水戸京成ホテル2階 「瑠璃の間」  
 (水戸市三の丸1-4-73 TEL029-226-3111)  
主催 (一社)茨城県建設業協会、  
 (一財)茨城県建設技術管理センター、  
 茨城県建設業協同組合

## 子どもたちが建設現場を描く 県庁2階に展示しました



本会は、小中学生が建設現場の風景を描いた図画作品を募集し、優秀作品を表彰しています。10月30日に開催された「建設フェスタ2017」の会場や、11月25日から12月6日まで茨城県庁2階情報センターに展示し、連日多くの方が訪れました。

作品は夏休み期間中に描かれたもので、小学校71校から662点、中学校22校から108点の応募がありました。

児童の目を通して、建設業の社会貢献や優れた技術と努力によって完成した道路などを社会にPRするとともに、建設業に対する認識を深めてもらうことを目的に、建設雇用改善事業の一環として毎年実施しています。

## ちよつと一言



「高校生に夢を書かせると、ユーチューバーとか声優とかばかり出てきて困る」という意見に対し、ある教育学者は「世の中がどんな様々な仕事で回っているかもちゃんと伝えずに夢ばかり煽れば、彼らが日頃親しんでいるユーチューブやアニメのことしか思いつかないのは当然」と答えた。

これは見方を変えれば、役割や必要性をちゃんと伝えれば、建設業も彼らの夢と成り得るということ。むしろ、他の産業より担い手を確保するチャンスはあるのかもしれない。彼らはユーチューブやアニメ以上に道路や橋、建物を利用しているのだから。(K)